

北海道のご当地グルメといえばラーメンが思い浮かびますが、その中でも札幌ラーメンで有名な『らーめん信玄』に行ってきました。

私の地元の石狩生まれで石狩市内にある『花川本店』と、札幌市内のススキノにある『南6条店』の2店舗あり、いつも行列の絶えないラーメン店。なので、少し足が遠のいていたのですが、その本店が昨年12月に移転オープンしており、そろそろ落ち着いた頃合いだと思いお邪魔しました。

以前は居抜きの店舗でしたが、新築の本店は城郭のような外観で武田信玄の家紋の『武田菱』が正面玄関の外壁に掲げられています。駐車スペースも20台に増え、店舗の中も吹き抜けの天井で居心地がよく、座席数も倍増していました。

肝心のラーメンの方は、私が定番の『信州コク味噌』の大盛り、妻が『蝦夷こがし背油醤油』のハーフを注文し、いざ実食。テーブルに備え付けの胡麻・一味・ラー油で味変をしながらスプーン滴まですべて飲み干し完食。間違いない味を久しぶりに堪能し、満足の一杯となりました。

札幌営業所(所長:清水 壮次郎)

KOYORAD

世界の拠点から
- From the base in the world -



今回ご紹介するのは愛媛県伊予市。こちらは伊予灘に面しており、青く広がった海が見える伊予灘の海岸線はとてもきれいなのですが、なかでも特にお勧めしたいのが、海に近い駅として有名になった下灘駅です。こちらはJR四国予讃線の無人駅ですが、ひとむかし前は駅ホームの下まで波が押し寄せるほど非常に海に近かったようです。

また映画のロケ地だったり、青春18きっぷのポスターに起用されたりと有名になっていきました。下灘駅と青く広がる海とが融合した美しい画は、なぜか子どもの頃の自分に帰るような気持ちになり、目も心も奪われます。

皆様もぜひ癒しを求めて、伊予灘の景色と下灘駅へ足を運ばれてみてはいかがでしょうか。



西日本物流センター西日本営業所(センター長:木下 敦裕)

皆様いかがお過ごしでしょうか。

東日本営業本部に赴任いたしました高橋です。まだまだ土地勘がありませんが、今後色々ご紹介できればと思います。

初回は、東京のど真ん中、三越日本橋本店を紹介いたします。

皆さんもよくご存じかと思いますが、『三越』という商号は、三井財閥創業者・三井家の三井と創業時の日本橋の呉服屋・越後屋に由来し、1904年に三越呉服店へ改称した頃からのものです。この改称の際に『デパートメントストア宣言』を行い、これをもって日本で最初の百貨店の歴史が始まったと言われています。(120年以上前の話なのですね…)

まず、入口にはおなじみのライオン像が2体鎮座しています。また館内中央部は1階から5階まで吹き抜けになっていて、2階から5階は吹き抜けに向かってバルコニー状になっています。さらに、2階バルコニーにはパイプオルガンが設置されています。定期的に演奏が行われているようで、私が行った際にもちょうど演奏されていました。ほか1階の吹き抜け大階段の中央部には、高さ10m超の大きな木造彫刻『天女像』があり、館内の内装も大理石が多用されています。(歴史を感じる雰囲気です…)実際に、本店本館は2016年に国の重要文化財に指定されています。

買い物をしなくても、歴史を垣間見える館内となっていました。

東日本物流センター東日本営業本部(センター長:高橋 鉄夫)

2025年3月までは尼崎市在住なので、最後に近くの場所で何かないと探していたら、いつも行くガソリンスタンドの近くに『田能遺跡』がありました。ここは弥生時代の集落跡で住居や木棺が出土し、首飾りや白銅製の腕輪を身に着けた御遺骨も発見されました。復元した住居や木棺なども公園内にあり、併設している尼崎市立田能資料館は無料で館内を見て回れます。

展示棟では木棺や勾玉、そのほか出土品も展示され、想像以上に多くの展示物があり、見応えがありました。解説も細かくしているので、弥生時代の方の生活がどんな感じだったか想像する事ができます。住居もそうですが、木棺の様子を見ると亡くなられた方への弔いもキチンとしていたのだと思いました。太古の時代の方々の思いにちょっと触れられた様な気がしました。

中日本物流センター中日本営業所(センター長:藤谷 弘行)

一ヶ月続くラマダンの断食が、もうすぐ終わりを迎えます。

ご存知の通り断食は、大体朝の4時半から夕方18時まで何も食べず、何も飲みません。子供は大体6~7歳くらいの頃から断食を始めます。ですが、病気の人や高齢者などの断食を行うと体に影響が出る人には断食の義務はありません。

最後の10日間は、沢山の人が夜0時から3~4時までモスクでお祈りをしたり、イスラム教の聖書を読んだりしています。自分は翌日に会社の出勤があるので、平日には行わず、やるとしたら週末か土日に行きます。夜中のお祈りなどは、疲れがたまっていることが多いため、体調を見ながら参加を自分自身で判断します。

近所の人々は、毎年最後の10日間のお祈りを集中して行うために、わざわざサウジアラビアのメッカまで行き、世界で一番大きいモスクであるグランドモスクでお祈りをしています。

その10日間は、お祈り、断食、寝ること、食べることなど、全てをグランドモスクで行うそうです。

KJI(インドネシア)(工場長:S.Akhyar)

~2分でOK~

上海の臨港新区に位置する、広さ86万㎡(東京ドーム18個分)のギガファクトリーは、テスラの中国工場としてモデル3、モデルYを生産しています。そして中国以外にも、日本を含む海外市場の輸出拠点として、重要な役割を担っています。

中国は今や、新車販売がアメリカを凌ぎ年間3,000万台を超えています。新エネルギー車(電気自動車、ハイブリッド車)の販売シェアは半数に迫り、世界に類を見ないスピードで独自の発展を続けています。電気自動車の普及が世界市場でこのまま急ピッチで進むのかどうかは、見方が分かれるところですね。

しかし、中国では国の政策もあり、新エネルギー車はこの数年で急増し、充電インフラも急拡大しています。ユニークなのは、充電ではなく電池交換で走行可能な車種もある点です。専用のスタンドへ行き、洗車機のような機械の中に車を停めれば、下からアームが伸びて使用済みバッテリーを外し、さらに新しいものがカチッと装着されます。月額15,000円程の定額を払えば、どこでも何度でも2分で満タンバッテリーに交換OKです。走行距離の多いユーザーやタクシーなどでは、このようなサービスを利用するケースが多くみられます。まだ一部のメーカーのみによるサービスですが、この先拡大していくのか、注目です。

KHE(中国・蘇州)(総経理:山本 博史)

こんにちは！あつという間に3月も終盤ですね。この時期は、カリフォルニアならではの『Super Bloom』と、野球ファン必見の『MLBスプリングトレーニング』が楽しめる特別な季節でした。

毎年春になると、カリフォルニアの砂漠や丘が色とりどりのワイルドフラワーで埋め尽くされる『Super Bloom』が話題になります。特に有名なのが『アンザ・ボレゴ砂漠州立公園(Anza-Borrego Desert State Park)』です。冬に雨が多かった年には、壮大な花の絨毯が広がります。毎年、開花状況がどうなるのか、皆が楽しみにしています！

また、3月といえばMLBのスプリングトレーニングも本格化。これは

新シーズン開幕前の調整期間です。カリフォルニアのチーム(ドジャース、ジャイアンツ、パドレス、エンゼルス、アスレチックス)がアリゾナ州のカクタスリーグでトレーニングを行いました。レギュラーシーズンよりも選手との距離が近く、チケットも手頃な価格なので、野球ファンには絶好の観戦チャンスでした。

3月のカリフォルニアは、自然の絶景とスポーツが同時に楽しめる最高の季節。Super Bloomで春の美しさを堪能するのも、スプリングトレーニングで野球を満喫するのもアリですね。皆さんはこの春、どんな楽しみ方をしますか？

KCS(アメリカ)(GM:Ayano Donnelly)

今の世の中は、GPSマップが道案内をしてくれるのでとても便利です。少なくとも、地図を持っていなければならなかったり、道端で人に道案内を頼み続けたりしていた昔よりはるかに良いです。スマートフォンがあれば歩きながら道を確認できるので、さらに便利になっています。

それでも時々、道路脇で通りの名前を確認することがあります。私が遭遇したのは、道路に2つの看板が並んでいるにもかかわらず、それぞれ違う通りの名前が書かれているものでした。通常、通りの名前は四角いプレートに書かれていますが、これは四角ではなく矢印の形をしていました。つまり、それぞれの看板が名前の書かれた方向の道路名を指しています。

私たちは、現代の便利さに慣れてしまい、基本的なスキルを忘れてしまうことがあります。オートマチック車が一般的になったため、マニュアル車の運転方法が分からなくなった人が多いという例を見てください。テクノロジーは快適さをもたらしますが、同時に何かを奪うこともあります。

KIO(シンガポール)(E.Wong)

先日、ヴィレムII対FCユトレヒトのサッカー試合のチケットを安く手に入れることができました(4ユーロ)。ヴィレムIIはティルブルフを拠点とするプロのサッカークラブで、1896年に設立され、FCユトレヒトはユトレヒトを拠点とし、1970年に設立されました。両クラブともエールディビジでプレーしています。試合は大きな進展がないまま進んでいましたが、残り30分には緊迫した雰囲気になりました。FCユトレヒトはヴィレムIIIに対して劣勢を覆し、ゴールラッシュの末、2-3で勝利しました。

前半17分にボリス・ランバート選手が、ミカエル・ティルパン選手のフリーキックから強烈なシュートを放ち、ヴィレムIIIに先制点をもたらしました。後半に、FCユトレヒトのコートジボワール出身選手、セバスティアン・ハラーがスフィアン・エル・カルアニ選手のクロスをヘディングで決め、同点に追いつきました。これは、FCユトレヒトに復帰して以来、初ゴールとなりました。その8分後、ヨング・オランイエ(U-21サッカーオランダ代表の別名)のストライカーでもあるノア・オハイオ選手が、見事なゴールでFCユトレヒトをリードさせました。オハイオ選手は、20m以上離れたところから右上隅にゴールを決めました。一方ヴィレムIIIは、ルナル・シングルゲイルソン選手が至近距離からゴールを決め、最終局面で同点に追いつきました。しかしその直後、エイドリアン・ブレイク選手が低い弾道のロングシュートでFCユトレヒトに勝利をもたらしました。

この勝利によって、FCユトレヒトは3位の座をより強固なものとし、シーズン終了時のUEFAチャンピオンズリーグ予選3回戦への出場権獲得にさらに近づきました。

KIO(オランダ)(Marvin de Laat)